

11月としては記録的な暑さが続いていましたが、朝夕は冷え込む時期となりました。気温差で体調を崩しやすいので、十分な睡眠と栄養バランスの良い食事を心がけ、おうちでも手洗い、うがい、手指の消毒など、十分に注意しながら元気に過ごしましょう。

インフルエンザ等が全国的に流行しています

季節性インフルエンザが例年より1~2カ月ほど早く流行しており、厚生労働省が11月6日に公表した全国の定点医療機関での季節性インフルエンザの患者数は前週の約1.20倍の19.68人で、42都道府県で注意報レベルとなっているそうです。



咽頭結膜熱（プール熱）の流行も続いています。10月22日までの1週間の患者数は過去10年間で最も多くなり、専門家は「今後も流行が続く可能性があります。換気や手洗いを心がけて予防してほしい」と呼びかけています。咽頭結膜熱（プール熱）の症状は、アデノウイルスによる39度前後の発熱や、のどの痛み、結膜炎などです。特別な治療法はなく、症状に合わせた対症療法で緩和しながら、症状は1~2週間で治まります。今年は子どものみならず大人も感染するケースが散見されるそうです。咽頭結膜熱（プール熱）はタオルなどを共用することでも感染し、アルコール消毒が効きづらいのですが、インフルエンザ・咽頭結膜熱（プール熱）どちらに関しても、換気、手洗い、うがい、といった基本的な予防法が効果的です。

インフルエンザの登園のめやす

発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで。（左図参照）

※治癒後の登園時に「意見書」の提出が必要です。

例	発症日		発症後5日間（登園停止期間）					発症後5日を経過		
	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	
発症後 1日目 に 解熱した 場合		解熱	1日目	2日目	3日目		登園 OK			
発症後 2日目 に 解熱した 場合			解熱	1日目	2日目	3日目	登園 OK			
発症後 3日目 に 解熱した 場合				解熱	1日目	2日目	3日目	登園 OK		

嘔吐物の処理方法について

10月後半から3月にかけて、突然吐いたり下痢をしたりするおなかの風邪が流行します。原因の多くはノロウイルスやロタウイルスによる感染症で、感染力が強く毎年のように流行します。

保育園で嘔吐物や下痢、血液等が付着した衣類や布団類は、職員や他のお子さまへの感染予防のため洗わずにそのままビニール袋に入れてお持ち帰りいただくことになっております。ご了承ください。



寒くなっても、動きやすい洋服を！

厚手の衣服は熱がこもってしまうだけでなく、汗をかいて体が冷え風邪をひいてしまうこともあります。下記の衣服は避けるようにし、薄手の衣服や、上着についてはフードのないウインドブレーカーのようなものをお願いいたします。

- ×裏起毛
- ×フリース素材
- ×中綿やダウンの上着



感染症発生状況（9月~10月）

- ・インフルエンザ
- ・ウイルス性胃腸炎
- ・ヘルパンギーナ
- ・溶連菌感染症
- ・コロナウイルス感染症
- ・突発性発疹
- ・咽頭結膜熱



■治癒後の登園時に、「登園届」や「意見書」が必要な感染症があります。「保育園のしおり」をご確認ください。（「ヒトメタニューモウイルス」は、記載がありませんが、「登園届」が必要になります。登園の目安などは「RSウイルス」の欄を参照してください）

感染症と診断された場合は必ずお知らせください

インフルエンザやコロナウイルスの他、胃腸炎、溶連菌やプール熱など感染症と診断されましたら、**診断後すぐに**保育園までお知らせいただくようご協力お願いします。「インフルエンザにかかったことを保育園に伝えなければ、解熱後すぐ登園できる」と、無理に登園されるとお子さまの体に負担がかかり、かえって回復が遅くなってしまうたり、保育園の園児に感染が拡大し、中には重症化してしまうお子さまが出てきてしまう場合もあります。



お仕事を長くお休みすることが難しかったり、どなたにも預けることが出来ない場合は、「ほけんだより 夏号」でお知らせいたしました病児保育や病後児保育のご利用もご検討をお願いします。（感染症の種類により受け入れできない施設もありますので各施設にお問い合わせください。）